

平成30年度社会福祉法人あゆみの会事業計画書

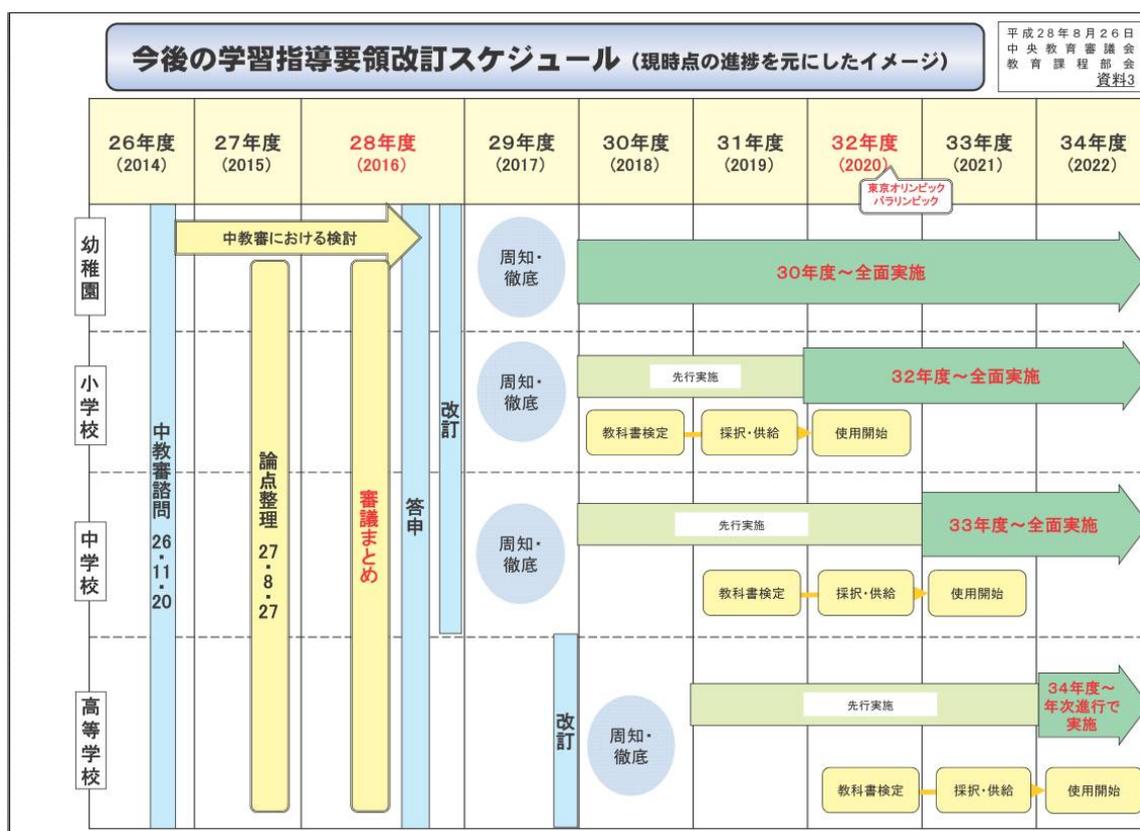
1. 平成30年度の計画について

1) 保育所保育指針に基づく保育を実践します。

本年度より新保育所保育指針が施行され、保育所は「幼児教育を行う施設」となりました。AIの進展や地球規模での環境問題等、今後、激しい変化が予想される社会を見据え、我が国では0才から社会に巣立つまでの学校教育全体を通じ、子どもたちに未来を生き抜く力を育てていくこととなりました。

また、発達に対する理解が進み、気付く、工夫をする、頑張るといった、生涯を支える非認知的能力の重要性が認識され、その力の基盤は5歳頃までに創られることが分かりました。保育指針では、健康、人間関係、環境、言語、表現といった5つの領域を通じて、非認知的能力を育てていくこととしています。

新指針の柱のもう一つは、小学校との連携を円滑に進めることです。保育所と小学校は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」の「10の姿」（以下「10の姿」という）を共有し、小学校との連携を重ねていくこととなります。



2) 姉妹園の交流を深めます (園バスの導入)

伊佐沼、三丁目、鶴ヶ岡は、それぞれ地域特性や特色を有しています。園単独での活動だけでなく、車での移動が可能な立地条件を活かし、3園の連携を深めることで、豊かな活動を展開することが期待できます。

具体的には園バスを整備し、姉妹園同士での交流や地域イベントや屋外活動の充実化、保護者参加行事などを取り入れながら、保育の質の向上を図っていきます。

3) 学識経験者等、外部の知見を取り入れていきます。

大学や養成校の教員、臨床心理士や建築、医学関係者など、専門性を有する方を研修講師やアドバイザーに任用し、保育の質の向上を図ります。

4) 環境整備を進めます。

保育指針は「環境を通じての保育」を打ち出しています。子どもの発達を援助する環境を整備することは、子どもの発達を促すとともに、職員の労働環境を改善し、保護者の方から選ばれる園になるためにも、重要です。本年度は、専門家の知見を入れながら、各園で積極的に園舎内、園庭環境の改善を図っていきます。

5) すまいる委員会「分科会」を充実します。

保育の質を向上するため、すまいる委員会各分科会を充実していきます。

保育分科会	<ul style="list-style-type: none">○ 各園に発達の5領域（健康、人間関係、環境、言語、表現）に対応する5つのゾーンを設置、各ゾーンに1年間専任する担当者を配置する。1. 環境を通じての保育を実践する。<ul style="list-style-type: none">1) 指導計画に基づく室内環境を整備する。2) 職員の資質を向上する3) 環境マイスター等、職員のモチベーションや処遇改善の根拠を創る4) 外部研修や他園見学等の際の学ぶ視点を高める5) 発達を見る視点を高める（各ゾーンで「気付く、工夫する、頑張る」を確認）2. 分科会による各園のゾーン担当者の交流<ul style="list-style-type: none">各ゾーンの担当者が集まり、自園での実践報告や気づきを共有する。○
安全分科会	<ul style="list-style-type: none">○ 指針の他、事故防止、感染症、アレルギー、血液感染等のガイドラインを学ぶ○ 各自治体が発行する事故報告書を分析する○ 子ども自身の安全力を高める取り組みを進める○ 保健計画に、発達援助の視点を盛り込む
食育分科会	<ul style="list-style-type: none">○ 指針の他、食育ガイドラインを学ぶ○ 共通する年間の食育計画を策定する○ 食や料理、食物の栽培等を保育に活かしていく○ 厨房関係者を常設メンバーとし、保育者と共に指導計画などを考えていく
保護者・地	<ul style="list-style-type: none">○ 保護者部会と地域部会に活動を整理する。

域分科会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者部会については「ポートフォリオ」「便り」等の検討や、保護者アンケート、クレームなどの分析を行う ○ 地域部会は、法人のパンフレット、ホームページ、キッズリーを担当し、ひろば担当者をメンバーに加える。
研修分科会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各分科会や園より求められた研修や外部見学園を開拓する。 ○ 外部知見者を交え、キャリアパスにつながる研修計画を策定する
法令分科会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権委員会の活動を充実する。人権通信の発行や知見者を交えた職員のメンタル管理。マニュアルなどの改善を図る。 ○ 引き続き、内部監査を実施していく

2. 施設整備について

本年度は、理事長が運営する家庭的保育室について、社会福祉法人で受け継ぐことを検討していきます。また、川越市・ふじみ野市を中心に、都内等、近隣の自治体の公募に対し、地理的な要因や職員配置等を勘案し、応募を検討することとします。

2018年度伊佐沼すまいる保育園 全体的な計画

保育指針のポイント1		環境を通して行う			保育指針のポイント2		養護と教育の一体的展開		
保育理念		自分のことが好きな子 自分のことが出来る子					保育目標		生きる力の基礎を育む
保育方針		1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする 5. 保護者の支援を行う							
すまいる保育園の目標		自分を愛する子 他者を愛する子 環境を愛する子 言葉を愛する子 表現を愛する子							
家族の状況及び保護者への支援		地域の実態との関わり			小学校との連携		主な行事		
連絡帳、キッズリー、ポートフォリオ 園たよりの、クラス便り、保健便り、食育便り、ルクミー 保育参加、保護者懇談会、保護者会		園たよりの地域回覧、HP、行事への参加・招待、姉妹園交流 他園交流			学校訪問、連絡会議		入園式 泥んこまつり 夕涼み会 親子ふれあい遊び会 ハロウィン ウインターフェスタ 卒園式		
衛生・健康		安全対策			職員の資質向上				
内科検診(2回) 歯科健診(1回) 害虫駆除、歯磨指導、手洗指導、清掃、消毒		毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回) 引渡訓練 普通救命救急講習 いのちのリスト、マニュアル・ガイドスの活用、			すまいる委員会・ワーキングチーム、 園内研修・園外研修 GT、臨床育児研究会、キャリアアップ研修 自己評価制度				
保育の目標・内容									
育みたい資質・能力の3つの柱		1. 気付く力 2. 工夫する力 3. 楽しく頑張る力							
保育目標		0歳児前半	0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
		一人一人の子どもが快適に生活できるようにする ・ひとりひとりで健康で安全に生活できるようにする ・生理的欲求が十分満たされるようにする。							
養護	生命の保持	授乳・睡眠・排泄など心地よく感じられるように関わり、生理的欲求を十分満たす。	一人一人の生活リズムを大切にしつつ生理的欲求を十分満たす。	応答的なかわりにより食事や排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。	安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを見守りながら援助をする。	健康で安全な生活に必要な習慣が身につくように見守り個々に応じて援助する。	健康で安全な生活に必要な習慣に関心を持ち自ら出来ることの喜びを感じられるように援助する。	健康で安全な生活に必要な習慣を身に付け自ら意欲的に行動できるようにする。	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
	情緒の安定	目を合わせ表情豊かに関わりながら、心地よく安心できる関係をつくっていく。	要求や愛着行動をしつかりと受容し安心して過ごせるようにする。	言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。	自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	子どもの気持ちや考えを受け止め、自我の形成とともに主体的に活動できるように援助する。	一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。	一人一人の子どもを主体として認め、肯定する気持ちを言葉や態度で伝え、自分への自信を獲得できるようにする。	
教育	健康	心身の発達 健康な心と体を育てる。 ・のびのびと体を動かす。食べることを楽しむ。十分に午睡をする。		簡単な身の回りのことに興味を持ち、遊びの中で十分体を動かしたり、戸外を歩くことを楽しむ。	身の回りの事を自分からしようとする。 ・全身を使って遊んだり、戸外を十分歩く。	十分に体を動かしながら、様々な用具や遊具を使った遊びを楽しむ。 ・自分でできることは自分でしようとする。	全身を使いながら、様々な遊具や用具で工夫して遊ぶ。 ・けんご、安全な生活に必要な習慣や態度に関心を持ち身に付けようとする。	目標をもって挑戦したりあきらめずにやり通すことで達成感を味わい様々な生活や遊びに意欲的に取り組む。	健康な心と体
	人間関係	社会的発達 人と関わる力の基盤を培う ・身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動き、表情、発声により気持ちを通わせようとする。		保育者を仲立ちとして、友達とのやり取りを楽しみながら関心を広げていく。	友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して友達との関わりを深めていく。	友達と思いを伝え合ったり、関わりを深める中で、簡単なルールを守って遊ぼうとする。	思い通りいかない不安や葛藤を経験する中で自分の思いを伝えようとし相手の思いに気付く。 ・友達とイメージを共有し協力しながら遊ぶ。	お友達と思いを伝え合う中で、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わう。 ・地域の人など自分の生活に関係の深い人々に親しみを持つ。	自立心
	言葉			保育者の応答的な関わりや話しかけにより、自らかんたんな言葉を使おうとする。	言葉への興味や関心を持ち、言葉のやりとりを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を楽しむ簡単な言葉を繰り返したり模倣したりして遊ぶ。	経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で伝えようとする。 生活や遊びに必要な言葉が分かり、使おうとする。	自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりして会話を楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを通して、ストーリーや言葉の面白さに気付く。	友達と考え言葉で伝え合い相手の話を聞くことによる意欲や態度を身付け遊びを発展させる。	協同性
	環境	精神的発達 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 ・見る、触れる、探索するなど身近な環境に自ら関わろうとする。		身近な自然や事象に興味や関心を広げる。 ・植物や生き物、土・水・泥などの自然物に興味を持ち触れたり遊んだりすることを楽しむ。	身近な自然や事象に興味や関心を広げる。 ・身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち分けたり集めたりする。	生活の中で、様々な音や色や形手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	自然や身近な事象に興味を持ち工夫して生活や遊びに取り入れられる。身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち数えたり比べたりする。	様々な事象や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ。 生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心を持ってかわかる。	道徳性・規範意識の芽生え
	表現	見る、触れる、探索するなど身近な環境に自ら関わろうとする。 ・表情や手足、体の動きなどで自分を表現する。		生活の中で、様々なものから刺激を受け、心行くまで関わることを楽しむ。	生活の中で、様々な音や色や形手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	生活の中で、様々な音や色や形手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	感じたことや、イメージしたものを、自分なりに工夫して作るとうする。 ・かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。 綺麗なものや素晴らしいものに触れ、自分の表現に生かそうとする。	社会生活との関わり
食育	たつぱりとミルクを飲む	離乳を進める	楽しく食べる	食材に興味を持つ	畑の収穫に興味を持ち食べる楽しさにつながる	食への興味や栄養に関して興味を持つ		思考力の芽生え	自然とのかかわり・生命尊重
								数量・図形、文字等への関心、感覚	言葉による伝え合い
								豊かな感性と表現	

2018年度全体的な計画(三丁目すまいる保育園)

保育指針のポイント1	環境を通して行う	保育指針のポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子 自分のことが出来る子		保育目標 生きる力の基礎を育む
保育方針	1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする 5. 保護者の支援を行う		
すまいる保育園の目標	自分を愛する子 他者を愛する子 環境を愛する子 言葉を愛する子 表現を愛する子		
家族の状況及び保護者への支援	地域の実態と関わり	連携施設との連携	主な行事
連絡帳、キッズリー、ポートフォリオ 園だより、クラス便り、保健便り、食育便り、るくみー 保育参加、保護者懇談会、保護者会	地域清掃への参加、HP、行事への参加・招待、姉妹園交流	園交流、子どもの発達の共有、連携	入園式 夕涼み会 触れ合い遊び会(虹) ハロウィン ウインターフェスタ 卒園式
衛生・健康	安全対策	職員の資質向上	
内科検診(2回) 歯科健診(1回) 害虫駆除、手洗い、うがい指導、清掃、消毒	毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回) 普通救命救急講習 いのちのリスト、マニュアル・ガイドスの活用	すまいる委員会・ワーキングチーム、 園内研修・園外研修 GT、臨床育児研究会、キャリアアップ研修 自己評価制度	

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		1. 気付く力 2. 工夫する力 3. 楽しく頑張る力					幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿
養護	保育目標	0歳児前半	0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	
	生命の保持	・一人ひとりの健康状態を把握し、感染症やSIDSなどに備えて適切に対応する	・健康や安全に配慮し、一人ひとりの生活リズムを大切にしつつ、生理的欲求を十分に満たす	・生理的欲求を満たし、生活リズムが形成されるよう援助する	・安全で快適な生活環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ち育てる	・食事や排泄などの身の回りのことなどの基本的な習慣が身に付くように見守り、必要に応じて援助する	
	情緒の安定	・一人ひとりが保育士等に受け止められながら安心感をもって過ごせるようにする	・一人ひとりの子どもの状態を把握し、心身の疲れが癒されるよう心がける	・子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う	・保育士等との暖かなやり取りやスキンシップを楽しみ、心の安定や身体感覚を育てる	・継続的な信頼感を基に、主体的に活動し、自分への自信が持てるように見守る	
教育	健康	【心身の発達】 ・保育士等による愛情豊かな受容の下で、生理的、心理的欲求を満たし、心地よく生活する。 ・一人ひとりの発達に応じて、はう、たつ、歩くなど、十分に身体を動かす ・一人一人に生活リズムに応じて、十分に食べる、眠るなどのリズム感覚が芽生える	・歩く、走る、ぶら下がるなど、自分の体を動かすことを積極的な楽しむ ・保育士等の助けを借りながら、身の回りのことをしようとする気持ちが芽生える	・基本的な動作が出来るようになり、全身を使って遊ぶことを楽しむ(十分に歩く、手を大きく振って走る) ・保育士等の見守りの中、身の回りのことを自分でしようとする	・体を使って動くことの子こと良さを感じながら積極的に遊ぶ(中央公園や図書館などで手を繋いで歩く、大型滑り台などのダイナミックな遊び経験) ・十分に食べる、眠るといった生活リズムが身に付く(十分に空腹感を感じ、意欲的に食べる)	健康な心と体 自立心	
	人間関係	【社会的発達】 ・応答的な触れ合いや言葉がけによって、欲求が満たされ、安心感をもって過ごす ・体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育士等とのやり取りを楽しむ ・温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える	・周囲との安定した関係の中で、身の回りの人に興味や関心を持ち、一緒に関わりをもつて過ごすことの楽しさを知る	・保育士等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付ける ・他園や地域の方とも触れ合うことで、いろいろな人の関わりを楽しむ(他園交流、お買い物など)	・保育所の生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く ・他園や地域の方とも触れ合うことで、いろいろな人の関わりを楽しむ(他園交流、お買い物など)	協同性 道徳性・規範意識の芽生え	
	環境	【精神的発達】 ・身の回りのものに対する興味や関心を持つ ・生活や遊びの中で様々なものに触れ、感覚の働きを豊かにする ・保育士等と一緒に様々な色や形、絵本などを見る ・玩具や身の回りのものを手や指を使って遊ぶ ・保育士等の怪しげな遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を使って楽しんだりする	・身近な自然に興味や関心を持ち、五感の働きを豊かにする ・自分の好きな遊びを見つけて、それらを使って遊びを楽しむ	・身近な自然に興味や関心を持ち、五感の働きを豊かにする ・自分の好きな遊びを見つけて、それらを使って遊びを楽しむ	・身の回りのものや自然に触れる中で、ものの性質などに興味を持ち、自ら関わりを持つ ・保育士と一緒に生き物の飼育などをすることで、親しみをもって関わる	社会生活との関わり 思考力の芽生え	
	言葉	・身の回りのものに対する興味や関心を持つ ・生活や遊びの中で様々なものに触れ、感覚の働きを豊かにする ・保育士等と一緒に様々な色や形、絵本などを見る ・玩具や身の回りのものを手や指を使って遊ぶ ・保育士等の怪しげな遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を使って楽しんだりする	・保育士等の応答的な関わりや話かけにより、ことばや指さし、身振りなどで相手に伝えようとする ・絵本に興味を持ち、保育士等の言葉がけに応じたり、指差ししたりして楽しむ	・保育士等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達とのやり取りを楽しむ ・保育士等の読み聞かせに興味をもって聞いたり、一人で好きな絵本をじっくり見たりして楽しむ	・保育士等や友達の言葉や話に興味をもって、聞いたり、自分なりに伝えたりする(お休みの日のことや散歩のことなどの伝え合い) ・物語などのお話も興味をもって集中して見る	自然とのかかわり・生命尊重	
	表現	・身の回りのものに対する興味や関心を持つ ・生活や遊びの中で様々なものに触れ、感覚の働きを豊かにする ・保育士等と一緒に様々な色や形、絵本などを見る ・玩具や身の回りのものを手や指を使って遊ぶ ・保育士等の怪しげな遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を使って楽しんだりする	・生活や遊びの中で、様々なものに興味を持ち、存分に関わる ・様々なことを体験する中で、自分なりに表現することを楽しむ	・興味のあることや経験したことを再現したり、真似たりして楽しむ	・経験したことや絵本の世界などを、自分なりにイメージを広げて、見たて遊びなどを楽しむ	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	
	食育	・食を楽しむ ⇒ 保育士等や友だちと一緒に会話を楽しくむなどしながら楽しく食べられるようにする	・プランターでの栽培 ⇒ 夏野菜、葉物、サツマイモなどプランターでの栽培活動を通して、直接体験ができるようにする	・調理保育 ⇒ お米とぎやコンロやホットプレートなどを用いた簡単な調理体験を重ねることで、食への興味や関心を広げる	・五感を使った遊び ⇒ 食材を見る、触れる、食べる、臭いをはかぐ、調理などの音を聞く	・食べる量の選択 ⇒ ご飯やおかず、デザートなど保育士等とのやり取りの中で自分の好きな量を食べられるようにする	

2018年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 全体的な計画

保育指針のポイント1		環境を通して行う			保育指針のポイント2		養護と教育の一体的展開		
保育理念		自分のことが好きな子 自分のことが出来る子					保育目標		生きる力の基礎を育む
保育方針		1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする 5. 保護者の支援を行う							
すまいる保育園の目標		自分を愛する子 他者を愛する子 環境を愛する子 言葉を愛する子 表現を愛する子							
家族の状況及び保護者への支援		地域の実態との関わり			小学校との連携		主な行事		
連絡帳、キッズリー、ポータルフォリオ 園たより、クラス便り、保健便り、食育便り、ルクミー 保育参加、保護者懇談会、保護者会		園たよりの地域回覧、HP、行事への参加・招待、姉妹園交流 他園交流			学校訪問、連絡会議		入園式 秋祭り 親子ふれあい遊び会 ハロウィン ウインターフェスタ 卒園式		
衛生・健康		安全対策			職員の資質向上				
内科検診(2回) 歯科健診(1回) 害虫駆除、歯磨指導、手洗指導、清掃、消毒		毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回) 引渡訓練 普通救命救急講習 いのちのリスト、マニュアル・ガイドスの活用、			すまいる委員会・ワーキングチーム、 園内研修・園外研修 GT、臨床育児研究会、キャリアアップ研修 自己評価制度				
保育の目標・内容									
育みたい資質・能力の3つの柱		1. 気付く力 2. 工夫する力 3. 楽しく頑張る力							
保育目標		0歳児前半	0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
		・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする ・ひとりひとりで健康で安全に生活できるようにする ・生理的欲求が十分満たされるようにする。							
養護	生命の保持	・授乳・睡眠・排泄など心地よく感じられるように関わり、生理的欲求を十分満たす。	・一人一人の生活リズムを大切にしつつ生理的欲求を十分満たす。	・応答的なかわりにより食事排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。	・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを見守りながら援助をする。	・健康で安全な生活に必要な習慣が身につくように見守り個々に応じて援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣に安心感を持ち自ら出来ることの喜びを感じられるように援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付け自ら意欲的に行動できるようにする。	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
	情緒の安定	・目を合わせ表情豊かに関わりながら、心地よく安心できる関係をつくっていく。	・要求や愛着行動をしつかりと受容し安心して過ごせるようにする。	・言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。	・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・子どもの気持ちや考えを受け止め、自我の形成とともに主体的に活動できるように援助する。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。	・一人一人の子どもを主体として認め、肯定する気持ちを言葉や態度で伝え、自分への自信を獲得できるようにする。	
教育	健康	心身の発達 健康な心と体を育てる。 ・のびのびと体を動かす。食べることを楽しむ。十分に午睡をする。		・簡単な身の回りのことに興味を持ち、遊びの中で十分体を動かしたり、戸外を歩くことを楽しむ。	・身の回りの事を自分からしようとする。 ・全身を使って遊んだり、戸外を十分歩く。	・十分に体を動かしながら、様々な用具や道具を使った遊びを楽しむ。 ・自分でできることは自分でしようとする。	・全身を使いながら、様々な道具や用具で工夫して遊ぶ。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度に関心を持ち、身に付けようとする。	・目標をもって挑戦したりあきらめずにやり通すことで達成感を味わい様々な生活や遊びに意欲的に取り組む。	健康な心と体 自立心
	人間関係	社会的発達 人と関わる力の基礎を培う ・身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動き、表情、発声により気持ちを伝えようとする。		・保育者を仲立ちとして、友達とのやり取りを楽しみながら関心を広げている。	・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して友達との関わりを深めていく。	・友達と意思を伝え合ったり、関わりを深める中で、簡単なルールを守って遊ぼうとする。	・思い通りにいかない不安や葛藤を経験する中で自分の思いを伝えようとし相手の思いに気付く。 ・友達とイメージを共有し協力しながら遊ぶ。	・友達と意思を伝え合う中で、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わう。 ・地域の人など自分の生活に関係の深い人々に親しみを持つ。	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
	言葉			・保育者の応答的な関わりや話しかけにより、自ら簡単な言葉を使おうとする。	・言葉への興味や関心を持ち、言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を楽しみ簡単な言葉を繰り返したり模倣したりして遊ぶ	・経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で伝えようとする。生活や遊びに必要な言葉が分かり、使おうとする。	・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたたりして会話を楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを通して、ストーリーや言葉の面白さに気付く。	・友達と考え言葉で伝え合い相手の話を聞こうとする意欲や態度を身に付け遊びを発展させる。	社会生活との関わり 思考力の芽生え
	環境	精神的発達 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 ・見る、触れる、探索するなど身近な環境に自ら関わろうとする。		・身近な自然に興味や関心を持ち、探索して遊ぶ。 ・身近な環境に親しみ保育者と共に生活や遊びを楽しむ。	・様々な自然や事象に興味や関心を広げる。 ・植物や生き物、土・水・泥などの自然物に興味を持ち触れたり遊んだりすることを楽しむ。	・生活の中で、様々な自然や事象に触れ、親しみを持って自分から関わろうとする。 ・身の回りの物の色・量・形などに興味を持ち数えたり比べたりする。	・自然や身近な事象に興味を持ち工夫して生活や遊びに取り入れる。身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち数えたり比べたりする。	・様々な事象や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ。 ・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心を持ってかか	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
	表現			・様々な事象や出来事を通して、イメージを豊かにする。 ・生活や遊びの中で、興味あることや経験したことを自分なりに表現する		・生活の中で、様々な音や色や形手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	・感じたことや、イメージしたものを、自分なりに工夫して作ろうとする。 ・書いたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。	・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。 ・綺麗なものや素晴らしいものに触れ、自分の表現に生かそうとする。	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
食育	たっぷりミルクを飲む	離乳を進める	楽しく食べる	食材に興味を持つ	・畑の収穫に興味を持ち食べる楽しさにつなげる	・食べ物や栄養に関して興味を持つ	・食べ物と体の健康との関係に興味を持つ		
ツール		発達確認(すくすくシート、のびのびシート、きらきらシート:ポータルフォリオ・敏感期確認表)、指導案(きらきらシート、どきどきシート)							